

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 26 年度 理事総会(第 1 回理事会)

平成 26 年 4 月 25 日(金) 15:00~17:00

盛岡第四高等学校 会議室

次第

開会		
専門部長挨拶		
自己紹介		
議長選出		
協議	1 平成 25 年度事業報告ならびに決算報告	
	(1) 平成 25 年度役員	2
	(2) 事業報告	3
	(3) 決算報告	
	ア 一般会計	6
	イ 事業費会計① NHK 杯県大会	7
	ウ 事業費会計② 新人大会	8
	エ 事業費会計③ 講習会	9
	2 平成 26 年度役員(改選期)	10
	3 平成 26 年度事業計画ならびに予算	
	(1) 事業計画	11
	(2) 予算	
	ア 一般会計	16
	イ 事業費会計① NHK 杯県大会	17
	ウ 事業費会計② 新人大会	18
	エ 事業費会計③ 講習会	19
	4 NHK 杯県大会要項(6 月 2 日・3 日開催)	20
	5 アナウンス朗読講習会要項(7 月中旬開催)	20
	6 放送講習会要項(9 月 14 日開催)	20
	7 その他	20
連絡	1 平成 27 年度以降の予定	20
	2 放送専門部の連絡方法	21
	3 その他	22
閉会		
資料	岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約	23
	平成 25 年度大会結果	28
	平成 25 年度高文連紀要	28

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2014/bod20140425.pdf>

協議1 平成25年度事業報告ならびに決算報告 (平成26年2月17日の第3回理事会で報告済)

(1) 平成25年度役員 (理事校26校)

専門部長	岩手県立盛岡北高等学校長	内藤賢一	事務局校
副専門部長	岩手県立盛岡第四高等学校長	工藤良裕	次期事務局校
専門部代表理事	岩手県立盛岡北高等学校	田口キヨ	事務局長
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広・谷藤さなえ		平成44～45年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	小田諭		平成32～33年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	大内寿文		平成34～35年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	水車明子(監事)・園城寺隆英		次期事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	田付晋也・清瀬剛志・熱海千乃・佐々木均・佐藤昇広(事務局)		
岩手県立盛岡南高等学校	細川明典・川崎博子		平成36～37年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	千葉英二・小野寺晶子		平成38～39年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	後藤靖行・佐藤素子		
岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也・太田原章克		平成40～41年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	高橋昭宏・日當稲子		平成42～43年度事務局校
盛岡市立高等学校	菊池博之(監事)・田村亜希子		平成46～47年度事務局校
岩手高等学校	松田満(盛岡支部理事)・堀江崇子		平成28～29年度事務局校
盛岡白百合学園高等学校	熊谷奈穂		平成30～31年度事務局校
岩手県立花巻北高等学校	金田知佐子(花巻支部理事)・高橋愛		
岩手県立黒沢尻北高等学校	曾我範晃(北上支部理事)・小野寺優		
専修大学北上高等学校	昆洋子・野村学		
岩手県立前沢高等学校	川原恵理子(奥州支部理事)・小野寺幸利		
岩手県立岩谷堂高等学校	都澤真生・佐々木実・野田啓志		
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉(気仙支部理事)		
岩手県立大船渡東高等学校	菊地晋哉		
岩手県立釜石高等学校	高橋篤志(釜石支部理事)・黄川田孝人・庄司晃子		
岩手県立大槌高等学校	高橋啓		
岩手県立宮古高等学校	山崎治子(宮古支部理事)・小成幸男		
岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉(上位大会担当)・和山真也		
	NHK杯運営委員・高文連全国放送専門部理事・東北アナ朗事務局		
岩手県立久慈高等学校	木村飛雄馬(久慈支部理事)		
岩手県立福岡高等学校	松尾美幸(二戸支部理事)・阿部智則		

空席 一関支部理事

## (2) 事業報告

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	9	火	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	25	木	理事総会・第1回理事会	盛岡北高	放送専門部
5	17	金	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
5	21	火	第65回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会 (盛岡第一・盛岡第二)	運動公園	協力事業 県高体連
6	3 4	月 火	第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (23校・215+322名・195エントリー)	県民会館	放送専門部・NHK
7	1 2	月 火	第13回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (7校・20名・13エントリー)	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	13	土	アナウンス朗読講習会 (9校・35名)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	20	土	交通安全テレビCM制作講習会1 (4校・42名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
7	22 25	月 木	第60回NHK杯全国高校放送コンテスト (9校・78名・24エントリー)	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	25	木	Nコン番組制作セミナー (5校・44名)	NHKふれあいホール(東京)	全放連・NHK
7	27	土	交通安全テレビCM制作講習会2 (5校・49名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
8	2	金	高文連全国放送専門部理事会	諫早文化会館	全国高文連
8	3 4	土 日	第37回全国高等学校総合文化祭(長崎大会) 放送部門(6校・22名・9エントリー)	諫早文化会館	全国高文連
8	10	土	短歌甲子園アナウンス講習会 (6校・25名)	おでつて	盛岡支部協力事業 盛岡市
8	21 23	水 金	第8回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡第二・盛岡第三・盛岡市立・岩手・盛岡白百合)	姫神ホール・盛岡劇場	盛岡支部協力事業 盛岡市
9	6	金	第2回理事会	盛岡北高	放送専門部
9	15	日	セミナーサポート事業②放送講習会 (16校・142名,うち県外4校8名)	県民会館	放送専門部
9	19	木	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	仙台市青年文化センター	東北高文連
10	4	金	第36回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (司会:前沢)	奥州市文化会館	県高文連 (奥州支部主管)
10	9	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	5 6	火 水	第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第31回岩手県高等学校放送新人大会 (18校・215名・178エントリー)	県民会館	放送専門部
11	19	火	第9回高校生交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	協力事業 岩手県
11	24	日	セミナーサポート事業④番組講習会 (11校・82名)	県民会館	放送専門部
12	23	月	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 (13校・53名)	県民会館	放送専門部
12	26 27	木 金	校内放送指導者講座 (1名派遣・計7名参加)	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	3	月	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	8 9	土 日	第17回東北高等学校放送コンテスト (12校・74名・36エントリー)	仙台市青年文化センター	東北高文連
2	17	月	第3回理事会・会計監査	盛岡北高	放送専門部
3	19	水	盛岡第四高へ引継ぎ	盛岡北高	放送専門部
3	26	水	番組講習会 (11校105名)	アイーナ	盛岡支部

## ア 大会事業

県大会はいずれも第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催しました。全結果は放送専門部のウェブサイトをご覧ください。

- ① **第60回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会** 6月3日(月)-4日(火) 県民会館
  - ・NHK 杯全国大会(平成25年7月)の予選として実施。
- ② **第31回岩手県高等学校放送新人大会** 11月6日(水) 県民会館
  - ・東北高等学校放送コンテスト(宮城大会, 平成26年2月)ならびに第38回全国高等学校総合文化祭放送部門(茨城大会, 平成26年8月)の予選として実施。
  - ・第38回全国高総文祭参加推薦は次のとおり。  
アナウンス部門…宮古(2)西野将弘, 盛岡白百合(1)佐藤徳乃可, 宮古(2)佐々木優子  
朗読部門…宮古(2)熊谷朔矢, 盛岡第三(2)鎌田玲暢, 黒沢尻北(2)菊池優希  
オーディオピクチャー部門…黒沢尻北, ビデオメッセージ部門…盛岡第一, 花巻北
- ③ **上位大会等** (担当: 宮古工業・菊地)
  - ・第13回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト 7月1日(月)-2日(火) 安比高原  
岩手県高文連放送専門部の主管で実施。
  - ・第60回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 7月22日(月)-25日(木) NHK ホール他  
アナウンス部門で6年ぶりの決勝進出, 入賞8, 60回記念イベント入賞2。
  - ・第37回全国高等学校総合文化祭放送部門 8月3日(土)-4日(日) 諫早文化会館  
入賞なし(3年ぶり)。
  - ・第17回東北高等学校放送コンテスト 2月8日(土)-9日(日) 日立システムズホール  
ラジオキャンペーンとテレビキャンペーンで最優秀賞, 入賞10。

## イ 講習会事業

セミナーサポート事業, 盛岡支部事業, 上位大会関連事業, 協力事業関連として実施しました。

- ① **放送専門部・盛岡支部主催**
  - ・**アナウンス朗読講習会** 13日(土) NHK 盛岡放送局  
上原康樹・高橋秀和(NHK 盛岡局)各氏による全国大会出場者への指導。
  - ・**放送講習会** 9月15日(日) 県民会館  
広島井口高等学校放送部 永尾和子先生と草野茜さん(2年)・白川愛花さん(2年)を招聘。  
県外からも4校が参加。
  - ・**メディアコミュニケーションセミナー** 10月9日(水) 県民会館・テレビ岩手  
岩瀬弘行・中野圭(TVI), 加藤久智・高橋典子(IBC)各氏による部門別の講習。
  - ・**番組講習会** 11月24日(日) 県民会館  
中野圭氏(テレビ岩手)による東北大会出場校への指導。
  - ・**アナウンス朗読講習会** 12月23日(月) 県民会館  
安田知博氏による東北大会出場者等への指導。
  - ・**番組講習会** 3月26日(水) アイーナ, 盛岡支部主催  
瀬川徹夫氏による指導。

## ② 上位大会関連・協力事業関連

### ・交通安全テレビCM制作講習会 (7/21・8/4 IBC)

IBCと盛岡情報ビジネス専門学校によるCM制作についての指導。2回同内容でのべ12校107名参加

### ・第9回高校生交通安全テレビCMコンテスト・制作講習会

7月20日(土)・27日(土)・11月19日 岩手県ほか主催, IBC岩手放送によるCM制作についての指導。講習会は2回同内容で計9校91名参加。

### ・Nコン番組制作セミナー 7月26日(木) 東京 NHK ふれあいホール

NHK杯全国大会後に東京で実施。桑山裕明氏(NHK制作局デスク)他による指導。盛岡第一・盛岡第二・岩手・黒沢尻北・宮古工業の5校参加。

### ・第8回全国高校生短歌大会司会・講習会

8月10日(土)・21日(水)-23(金) 盛岡劇場ほか, 畑中美耶子氏による指導。6校が担当。

### ・その他

高総体開会式司会 5月21日 運動公園…盛岡第一高校・盛岡第二高校

IAT 純情応援歌 5-7月

県高総文祭総合開会式 10月4日 Zホール…前沢高校

いわて教育の日のつどい 11月1日 盛岡劇場…宮古高校

## ウ 顧問研修事業

校内放送指導者講座(12/26-27, 千代田放送会館)…1名派遣, 1名参加補助をおこない, 合計7名が参加。この講座への岩手からの参加者は累計25名(複数回参加を除く)となり, 指導力・審査力の向上につながっています。

## エ その他

### ① 部員数調査…第2回理事会で報告

### ② 県高文連表彰…第2回理事会で報告

次のとおり県高文連に推薦し, 表彰を受けています。

**連盟賞(生徒表彰)**…平成24年9月1日～平成25年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

・黒沢尻北高校 千葉紗也香…

第60回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門優秀賞。

**功労賞(教職員表彰)**…平成24年度末に退職した教職員で, 専門部長・指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞したもの, 指導者として全国大会に10回以上出品・出演させたもの。

・佐野武徳先生…盛岡北高校長で退職, 前専門部長。

・吉田文夫先生…花巻南高校長で退職, 平成18年度全国総文祭(京都)VM部門優秀賞(黒沢尻北高), 平成16年度全国総文祭(徳島)AP部門特別賞(黒沢尻北高)ほか全国大会出場多数。

(3) 決算報告

ア 一般会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 前年度繰越	110,213	110,213	0	
B 登録料	190,000	170,000	-20,000	1校あたり ¥10,000 × 17校
<b>C 参加料</b>				
C-01 NHK杯県大会参加料	160,000	162,000	2,000	1エントリーあたり1,000
C-02 新人大会参加料	160,000	148,000	-12,000	1エントリーあたり1,000
参加料小計	320,000	310,000	-10,000	
<b>D 補助金</b>				
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯・新人大会各40,000
D-02 セミナーサポート費	430,000	430,000	0	講習会430,000
D-03 強化費	40,000	40,000	0	NHK杯40,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	0	NHK杯100,000・新人大会70,000
D-05 研修費	40,000	40,000	0	新人大会40,000
補助金小計	760,000	760,000	0	
E 雑収入	787	83	-704	利息
合計	1,381,000	1,350,296	-30,704	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
<b>A 運営費</b>				
A-01 分担金	40,000	30,000	10,000	東北高文連放送部会費・東北県参加料
A-02 事務費	1,000	290	710	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	50,000	36,785		第3回理事会等
運営費小計	91,000	67,075	10,710	
<b>B 事業費</b>				
B-01 NHK杯県大会	350,000	246,556	103,444	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	340,000	309,130	30,870	事業予算・決算別途
B-03 講習会	450,000	534,819	-84,819	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	10,000	60,780	-50,780	全国研修会派遣補助等
事業費小計	1,150,000	1,151,285	-1,285	
C 予備費	140,000	0	140,000	
総計	1,381,000	1,218,360	149,425	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 1,350,296 - 1,218,360 = 131,936 (次年度繰越金)

監査の結果、適正と認めます。

平成26年2月17日 監査 菊池博之  
監査 水車明子

- ・平成25年度第3回理事会の中間報告後の出納は、収入の部Eの雑収入50円と、支出の部A-03第3回理事会と引継の旅費35,785円。
- ・登録料について、被災校の免除(6校60,000円)をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は20,000円の増。
- ・収入決算額の前年度決算額との増減は86,088円の減、支出決算額の前年度決算額との増減は107,811円の減。
- ・繰越131,936円は、予算額の9.8%である。

イ 事業費会計① NHK 杯県大会 (平成 25 年度第 2 回理事会で承認済み)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	160,000	162,000	2,000	一般会計収C-01
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	100,000	44,556	-55,444	一般会計収D-04
4 強化費	40,000	0	-40,000	一般会計収D-03
5 一般会計より	10,000	0	-10,000	一般会計収B
合計	350,000	246,556	-103,444	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
<b>A 報償費</b>				
A-01 審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	45,000	42,240	2,760	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	42,240	22,760	
<b>B 旅費</b>				
B-01 県大会関係	60,000	67,251	-7,251	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	115,000	45,600	69,400	担当者会議・全国大会運営委員会
旅費小計	175,000	112,851	62,149	
<b>C 需用費</b>				
C-01 食糧費	60,000	54,480	5,520	審査員・係昼食
C-02 資料費	10,000	2,835	7,165	事務用品
需用費小計	70,000	57,315	12,685	
D 役務費	5,000	1,885	3,115	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	35,000	32,265	2,735	上位大会被災校参加料
総計	350,000	246,556	103,444	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 246,556 - 246,556 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成25年9月6日 監査 菊池博之  
監査 水車明子

- ・参加料について、被災校・被災者の免除(7校 33 エントリー-33,000 円)をおこなった。参加料の前年度決算額との増減は8,000 円の増。
- ・予備費から、被災校・被災者の東北高等学校アナウンス朗読コンテスト参加料と手数料(1校 3名 7,605 円)、NHK 全国高校放送コンテスト参加料と手数料(2校 5 エントリー-24,660 円)を支出した。
- ・支出決算額の前年度決算額との増減は9,563 円の増。

ウ 事業費会計② 新人大会 (平成25年度第3回理事会で承認済み)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	160,000	148,000	-12,000	一般会計収C-02
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	70,000	120,395	50,395	一般会計収D-04
4 研修費	40,000	0	-40,000	一般会計収D-05
5 一般会計より	30,000	735	-29,265	一般会計収B
合計	340,000	309,130	38,395	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
<b>A 報償費</b>				
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	50,000	49,510	490	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	130,000	129,510	490	
<b>B 旅費</b>				
B-01 県大会関係	60,000	65,420	-5,420	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	35,000	18,020	16,980	高文連全国放送専門部理事会・東北理事会
旅費小計	95,000	83,440	11,560	
<b>C 需用費</b>				
C-01 食糧費	50,000	39,830	10,170	審査員・係昼食
C-02 資料費	10,000		10,000	事務用品
需用費小計	60,000	39,830	20,170	
D 役務費	5,000	3,350	1,650	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	50,000	53,000	-3,000	上位大会被災校参加料
総計	340,000	309,130	30,870	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 309,130 - 309,130 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成26年2月17日 監査 菊池博之  
監査 水車明子

- ・参加料について、被災校・被災者の免除(3校30エントリー30,000円)をおこなった。参加料の前年度決算額との増減は1,000円の増。
- ・予備費から、被災校・被災者の東北高等学校放送コンテスト参加料(2校12エントリー60,000円)、全国高総文祭参加料(2校3エントリー3,000円)を支出した。
- ・支出決算額の前年度決算額との増減は78,238円の減(全国理事が引率だったことによる)。

エ 事業費会計③ 講習会 (平成25年度第3回理事会で承認済み)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 セミナーサポート費	430,000	430,000	0	一般会計収D-02
2 強化費		40,000	40,000	一般会計収D-03
3 専門部補助		5,049	5,049	一般会計収D-04
4 研修費		40,000	40,000	一般会計収D-05
5 一般会計より	20,000	19,770	-230	一般会計収B
合計	450,000	534,819	84,819	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費	150,000	137,982	12,018	講師謝礼@20,000/日
B 旅費				
B-01 講師旅費	200,000	272,830	-72,830	高文連規定による定額
B-02 講師宿泊費	60,000	68,600	-8,600	高文連規定による定額
旅費小計	260,000	341,430	-81,430	
C 需用費				
C-01 資料作成費			0	
C-02 印刷代			0	
C-03 教材作成費			0	
C-04 講師昼食代	30,000	22,539	7,461	講師・役員
C-05 消耗品費		2,558	-2,558	名札用紙
需用費小計	30,000	25,097	4,903	
D 役務費				
D-01 郵便料金		310	-310	
D-02 宅配料金			0	
D-03 運搬費			0	
D-04 振込手数料			0	
D-05 その他通信費			0	
役務費小計	0	310	-310	
E 使用料・賃借料				
E-01 会場費	5,000	30,000	-25,000	3月番組講習会補助
E-02 機器使用料	5,000		5,000	
使用料・賃借料小計	10,000	30,000	-20,000	
F 予備費		0	0	
総計	450,000	534,819	-84,819	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 534,819 - 534,819 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成26年2月17日

監査

菊池博之

監査

水車明子

・事業ごとの支出額は次のとおり。

		昨年度決算額比
①アナウンス朗読講習会(7/13)	5,100円	150円減
②放送講習会(9/15)	295,443円	149,399円増
③メディアコミュニケーションセミナー(10/9)	102,588円	208円増
④番組講習会(11/24)	27,746円	1,871円減
⑤アナウンス朗読講習会(12/23)	73,942円	74,107円減
番組講習会(3/26)への補助	30,000円	0円
合計	534,819円	73,479円増

協議 2 平成 26 年度役員 (改選期, 理事校 24 校)

専門部長	岩手県立福岡工業高等学校長	三田章徳	
副専門部長	岩手県立盛岡第四高等学校長	工藤良裕	事務局校
副専門部長	岩手中・高等学校長	村井伸吾	次期事務局校
専門部代表理事	岩手県立盛岡第四高等学校	澤瀬政則	事務局長
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広・谷藤さなえ		平成 44～45 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	小田諭		平成 32～33 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	大内寿文		平成 34～35 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	石川晶子・園城寺隆英・水車明子・高橋宙志・村上真子・佐藤満		事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	田口キヨ(監事)		平成 48～49 年度事務局校
岩手県立盛岡南高等学校	川崎博子		平成 36～37 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	金子剛・千葉英二・小野寺晶子		平成 38～39 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	後藤靖行・佐藤素子		
岩手県立盛岡工業高等学校	小澤博幸・菊地俊一・太田原章克		平成 40～41 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	高橋昭宏・谷崎勝広		平成 42～43 年度事務局校
盛岡市立高等学校	菊池博之・村上愛		平成 46～47 年度事務局校
岩手高等学校	松田満(監事・盛岡支部理事)・堀江崇子		次期事務局校
盛岡白百合学園高等学校	熊谷奈穂		平成 30～31 年度事務局校
岩手県立花巻北高等学校	金田知佐子(花巻支部理事)・牛崎芳恵		
岩手県立黒沢尻北高等学校	高橋啓(北上支部理事)・阿部尚史		
専修大学北上高等学校	野村学・藤原悟		
岩手県立前沢高等学校	川原恵理子(奥州支部理事)		
岩手県立岩谷堂高等学校	野田啓志・内村湧嬉・熊谷洋子		
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉(気仙支部理事)		
岩手県立釜石高等学校	高橋篤志(釜石支部理事)		
岩手県立宮古高等学校	山崎治子(宮古支部理事)・小成幸男		
岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉(上位大会担当)・和山真也		
			NHK 杯運営委員・高文連全国放送専門部理事・東北アナ朗事務局
岩手県立久慈高等学校	木村飛雄馬(久慈支部理事)		
岩手県立福岡高等学校	曾我範晃(二戸支部理事)・松尾美幸・阿部智則		

空席 一関支部理事

## 協議3 平成26年度事業計画ならびに予算

### (1) 事業計画

- ・規約第5条により，大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の4つで構成します。
- ・以下の日程原則により，次ページのとおり会場を確保しています。
- ・9月までの主催事業の要項は，今回の理事会で協議します(NHK杯県大会は協議4，アナウンス朗読講習会は協議5，放送講習会は協議6)。10月以降のものは第2回理事会で協議します。
- ・昨年度までの要項等は，放送専門部のウェブサイトをご覧ください。

### 日程原則

- ・第1回理事会(理事総会)…4月中・下旬
- ・NHK杯県大会(県民会館)…6月第2週の月曜・火曜(高総体後・考査前)
- ・セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会(NHK盛岡局, 全国大会出場者対象)…7月中旬(NHK盛岡局との協議により決定)
- ・第2回理事会…9月上旬
- ・セミナーサポート事業②放送講習会(県民会館)…9月3連休(以上)の中日(県外校招聘のため)
- ・セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)…体育の日の翌々日の水曜(高総文祭開会式後，新人大会決勝との曜日的一致)
- ・新人大会(県民会館)…11月第2週の火曜・水曜(運動部の新人大会後・考査前)
- ・セミナーサポート事業④番組講習会(県民会館，東北大会出場者対象)…11月下旬の日曜(TVIとの協議により決定)
- ・セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会(県民会館, 東北大会出場者対象)…天皇誕生日(終業式後)
- ・第3回理事会…2月中旬

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	11	金	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	25	金	理事総会・第1回理事会	盛岡第四高	放送専門部
5	16	金	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
5	20	火	第66回岩手県高等学校総合体育大会総合開会式 司会 (盛岡第一・盛岡第二)	運動公園	協力事業 岩手県高体連
6	2 3	月 火	第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6 7	30 1	月 火	第14回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	5 6	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	月 木	第61回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	24	木	Nコン番組制作セミナー	(東京)	全放連・NHK
7	下旬?		交通安全テレビCM制作講習会?	IBC岩手放送?	協力事業 IBC岩手放送?
7	29	火	高文連全国放送専門部理事会	茨城県日立市 ホテルテラスザスクエア日立	全国高文連
7	30 31	水 木	第38回全国高等学校総合文化祭(茨城大会)放送部門	日立シビックセンター	全国高文連
8	上・中旬		短歌甲子園アナウンス講習会?	おでって?	盛岡支部協力事業 盛岡市
8	28 30	木 土	第9回全国高校生短歌大会 司会	姫神ホール・盛岡劇場	盛岡支部協力事業 盛岡市
9	5	金	第2回理事会	盛岡第四高	放送専門部
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(山形県)	東北高文連
9	14	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	10	金	第37回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館	県高文連 (盛岡支部主管)
10	15	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
10	31	金	第10回高校生交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル?	協力事業 岩手県
11	4 5	火 水	第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第32回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	23	日	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	火	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	26 27	金 土	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	2	月	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	7 8	土 日	第18回東北高等学校放送コンテスト	山形テルサ	東北高文連
2	18	水	第3回理事会・会計監査	盛岡第四高	放送専門部
3	下旬		番組講習会	(盛岡)	盛岡支部

## ア 大会事業

### ① 主催大会

いずれも第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会，ならびに上位大会の県予選として開催します。上位大会出場を前提としてエントリーしてください。

大会は，2日日程(1日めは午後から番組の予選のみ，2日めにアナ朗予選と全部門決勝)を原則とし，エントリー数によっては1日開催とします。参加申込み締切は，大会3週間前を原則とします。

今年度の参加料は，1エントリー当たり1,200円とします(平成25年度第3回理事会で承認)。平成27年度以降については，県高文連の補助金額が明らかになり次第，検討します。

参加料の免除については，被災校・被災者に対して当面継続します。免除対象の判断は参加校の校長がおこなうこととし，大会の案内文書に記載することとします。参加料免除のエントリーが上位大会に進出した場合，上位大会の参加料は，放送専門部の会計から支出します。

### ② 上位大会 (担当: 宮古工業・菊地)

- ・第14回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト(安比) 6/30-7/1 主管事業

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/anarou/> 岩手県高文連放送専門部の主管で実施。夏の全国大会アナ朗代表対象。

- ・第61回NHK杯全国高校放送コンテスト(東京) 7/21-24

[http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon\\_h/](http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/) NHK杯県大会の上位大会。全国大会についての詳細は6/3の代表校打合せにて説明します。

- ・第38回全国高等学校総合文化祭放送部門(茨城県日立市) 7/30-31

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/soubun2014/> 平成25年度新人大会の上位大会。代表は次のとおり。

- ・アナウンス部門…宮古・西野将弘，盛岡白百合・佐藤穂乃可，宮古・佐々木優子
- ・朗読部門…宮古・熊谷朔矢，盛岡第三・鎌田玲暢，黒沢尻北・菊池優希
- ・オーディオピクチャー部門…黒沢尻北
- ・ビデオメッセージ部門…盛岡第一，花巻北

#### 準備日程

- ・5/1(木)正午 部門別参加票・作品・書類等一式集約(郵送等) → 宮古工業・菊地
- ・5/30(金) 宿泊・弁当等の申込み → 指定業者(大会のサイトから手続き)

**表彰**…各ブロックから1名(1本)を優秀賞に選出，総合成績1位の都道府県に文部科学大臣賞・2位に文化庁長官賞を授与する

- ・茨城大会のグループ(ブロック)

アナウンス部門:ブロックF(北海道・岩手・福島・石川・山口・沖縄)

朗読部門:ブロックA(岩手・山形・長野・奈良・広島・福岡)

AP部門:A/Bブロック(岩手・栃木・奈良・福岡・長崎・鹿児島 / 北海道・栃木・東京・新潟・愛知・宮崎)

VM部門:ブロックA(岩手・栃木・奈良・福岡・長崎・鹿児島)

## 運営関係

- ・会則の改定…全国高文連の公益社団法人化にともなう改定作業をすすめている。おもに常任理事会(6ブロックから選出)のあり方について議論される見込み。
- ・表彰…平成24年(富山大会)から、発表時間帯でブロックに分け、個別審査で各ブロックから優秀賞1・特別賞を出し、個々の審査点を都道府県ごとに加算して第1位の都道府県に文部科学大臣賞を、第2位に文化庁長官賞を出すこととした。平成25年度の文部科学大臣賞は北海道、文化庁長官賞は長野県が選ばれた。
- ・表彰に関する問題点…開催県は倍エントリーであるため複数ブロックに入ることとなり、文部科学大臣賞・文化庁長官賞のための集約で有利である。また、個別の審査点については公表されておらず、さらに何位までを加算対象にするのかも明らかにされていない。
- ・発表形態に関する問題点…都道府県ごとの発表がばらばらにされてしまい、交流の場という「開催基準」にあわない実態となっている。各部門における都道府県単位の発表(岩手案)についての検討は、保留となった。
- ・組織に関する問題点…年1度の理事会では合意形成が難しいことから、6県会議(全国総文祭開催前後6県)を基本に常任理事会を構成し、ここで原案をつくって理事会で承認する方式で今後のあり方を検討することを、岩手県として提案している。
- ・他の都道府県との連携を図り、NHK杯とは異なる大会を実現したい。
- ・第18回東北高等学校放送コンテスト(山形テルサ) 2/7-8 主管: 山形県  
新人大会の上位大会。キャンペーン部門のキーワードは「時(とき)」
- ・第39回全国高等学校総合文化祭放送部門(滋賀県栗東市) 平成27年7/31-8/1  
<http://www.biwako-soubun.jp/> 新人大会の上位大会。

## イ 講習会事業

- ① 主催講習会…いずれの講習会も、セミナーサポート事業として開催します。参加料は無料です。参加申込み締切は、開催2週間前を原則とします。
  - ・アナウンス朗読講習会(1)(NHK盛岡局?) 7月中旬 →協議5  
NHK杯全国大会・全国総文祭のアナウンス部門・朗読部門代表対象
  - ・放送講習会(県民会館) 9/14 →協議6
  - ・メディアコミュニケーションセミナー(県民会館) 10/15  
TVI・IBCの専門職による部門別(アナウンス・朗読・テレビ・ラジオ)講習
  - ・番組講習会(1)(県民会館) 11/23 東北大会代表対象
  - ・アナウンス朗読講習会(2)(県民会館) 12/23 東北大会アナ朗代表対象
  - ・番組講習会(2) 3月下旬 盛岡支部主催
- ② 上位大会関連・協力事業関連…放送専門部のウェブサイト、メーリングリスト等で随時お知らせします。
  - ・Nコン番組制作セミナー、交通安全テレビCMコンテスト、短歌甲子園司会講習会、他

## ウ 顧問研修事業

予算の執行状況をみて、校内放送指導者講座(12/26-27, 東京)への派遣と参加補助をおこないます。また、他県の研修会・講習会等の行事について、メーリングリストで案内します。

## エ その他

- ① 部員数調査…5月に実施し、メーリングリストと第2回理事会で報告します。→連絡3(2)
- ② 県内諸団体からの協力要請によるもの…県高総体総合開会式, 県高総文祭総合開会式, 高総体開会式, いわて教育の日記念行事, 県内マスコミの依頼(IAT 純情応援歌, 5/16 締切)等について協力します。

県高総文祭総合開会式の担当は次のとおりです。

- ・平成26年(第37回)…盛岡支部, 岩手女子高校主管
- ・平成27年(第38回)…久慈支部
- ・平成28年(第39回)…花巻支部
- ・平成29年(第40回)…盛岡支部

- ③ 高文連表彰…県高文連表彰規定により、次に該当するものを推薦します。第2回理事会で報告します。

- ・連盟賞(生徒表彰)…平成25年9月1日(昨年度の全国高総文祭を除く)～平成26年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
- ・功労賞(教職員表彰)…平成25年4月1日～平成26年3月31日に退職した教職員で、専門部長経験者, 指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞させた方, 指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方のいずれかにあたる方を専門部として推薦します。該当の方をお知らせください。

- ④ その他…予算の執行状況をみて、県外行事への生徒の派遣(北海道放送技術講習会, 千葉県成田高校主催首都圏放送部合同合宿等)を検討します。

## (2) 予算

## ア 一般会計

## 1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 前年度繰越	131,936	110,213	110,213	21,723	
B 登録料	170,000	190,000	170,000	-20,000	1校あたり ¥10,000
C 参加料					
C-01 NHK杯県大会参加料	192,000	160,000	162,000	32,000	1エントリーあたり1,200
C-02 新人大会参加料	180,000	160,000	148,000	20,000	1エントリーあたり1,200
参加料小計	372,000	320,000	310,000	52,000	
D 補助金					
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	NHK杯・新人大会各40,000
D-02 セミナーサポート費	365,500	430,000	430,000	-64,500	講習会365,000
D-03 強化費	36,000	40,000	40,000	-4,000	NHK杯36,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	170,000	0	NHK杯61,000・新人大会109,000
D-05 研修費	20,000	40,000	40,000	-20,000	新人大会20,000
補助金小計	671,500	760,000	760,000	-88,500	
E 雑収入	564	787	83	-223	利息
合計	1,346,000	1,381,000	1,350,296	-35,000	

## 2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 運営費					
A-01 分担金	30,000	40,000	30,000	-10,000	東北高文連放送部会費・東北県参加料
A-02 事務費	1,000	1,000	290	0	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	50,000	50,000	36,785		第3回理事会等
運営費小計	81,000	91,000	67,075	-10,000	
B 事業費					
B-01 NHK杯県大会	345,000	350,000	246,556	-5,000	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	370,000	340,000	309,130	30,000	事業予算・決算別途
B-03 講習会	375,500	450,000	534,819	-74,500	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	61,000	10,000	60,780	51,000	全国研修会派遣補助等
事業費小計	1,151,500	1,150,000	1,151,285	1,500	
C 予備費	113,500	140,000	0	-26,500	
総計	1,346,000	1,381,000	1,218,360	-35,000	

## イ 事業費会計① NHK 杯県大会

### 1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	192,000	160,000	162,000	32,000	一般会計収C-01
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	60,000	100,000	44,556	-40,000	一般会計収D-04
4 強化費	36,000	40,000	0	-4,000	一般会計収D-03
5 一般会計より	17,000	10,000	0	7,000	一般会計収B
合計	345,000	340,000	246,556	-5,000	

### 2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
<b>A 報償費</b>					
A-01 審査員謝金	20,000	20,000	0	0	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	45,000	45,000	42,240	0	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	65,000	42,240	0	
<b>B 旅費</b>					
B-01 県大会関係	60,000	60,000	67,251	0	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	115,000	115,000	45,600	0	担当者会議・全国大会運営委員会
旅費小計	175,000	175,000	112,851	0	
<b>C 需用費</b>					
C-01 食糧費	55,000	60,000	54,480	-5,000	審査員・係
C-02 資料費	10,000	10,000	2,835	0	事務用品
需用費小計	65,000	70,000	57,315	-5,000	
D 役務費	5,000	5,000	1,885	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	35,000	35,000	32,265	0	上位大会被災校参加料
総計	345,000	350,000	246,556	-5,000	

## ウ 事業費会計② 新人大会

### 1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	180,000	160,000	148,000	20,000	一般会計収C-02
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	110,000	70,000	120,395	40,000	一般会計収D-04
4 研修費	20,000	40,000	0	-20,000	一般会計収D-05
5 一般会計より	20,000	30,000	735	-10,000	一般会計収B
合計	370,000	340,000	309,130	60,000	

### 2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
<b>A 報償費</b>					
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	50,000	50,000	49,510	0	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	130,000	130,000	129,510	0	
<b>B 旅費</b>					
B-01 県大会関係	60,000	60,000	65,420	0	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	75,000	35,000	18,020	40,000	高文連全国放送専門部理事会・東北理事会
旅費小計	135,000	95,000	83,440	40,000	
<b>C 需用費</b>					
C-01 食糧費	40,000	50,000	39,830	-10,000	審査員・係
C-02 資料費	10,000	10,000		0	事務用品
需用費小計	50,000	60,000	39,830	-10,000	
D 役務費	5,000	5,000	3,350	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	50,000	50,000	53,000	0	上位大会被災校参加料
総計	370,000	340,000	309,130	30,000	

## エ 事業費会計③ 講習会

### 1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 セミナーサポート費	365,500	430,000	430,000	-64,500	一般会計収D-02
2 強化費			40,000	0	一般会計収D-03
3 専門部補助			5,049	0	一般会計収D-04
4 研修費			40,000	0	一般会計収D-05
5 一般会計より	10,000	20,000	19,770	-10,000	一般会計収B
合計	375,500	450,000	534,819	-74,500	

### 2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
<b>A 報償費</b>	140,000	150,000	137,982		講師謝礼@20,000/日
<b>B 旅費</b>					
B-01 講師旅費	170,000	200,000	272,830	-30,000	高文連規定による定額
B-02 講師宿泊費	40,000	60,000	68,600	-20,000	高文連規定による定額
旅費小計	210,000	260,000	341,430	-50,000	
<b>C 需用費</b>					
C-01 資料作成費				0	
C-02 印刷代				0	
C-03 教材作成費				0	
C-04 講師昼食代	24,000	30,000	22,539	-6,000	講師・役員
C-05 消耗品費			2,558	0	名札用紙
需用費小計	24,000	30,000	25,097	-6,000	
<b>D 役務費</b>					
D-01 郵便料金	500		310	500	
D-02 宅配料金				0	
D-03 運搬費				0	
D-04 振込手数料	1,000			1,000	
D-05 その他通信費				0	
役務費小計	1,500	0	310	1,500	
<b>E 使用料・貸借料</b>					
E-01 会場費		5,000	30,000	-5,000	
E-02 機器使用料		5,000		-5,000	
使用料・貸借料小計	0	10,000	30,000	-8,500	
<b>F 予備費</b>			0	0	
総計	375,500	450,000	534,819	-54,500	

・事業ごとの支出見込額は次のとおり。

		昨年度決算額比
①アナウンス朗読講習会(7月)	5,040円	60円減
②放送講習会(9/14)	180,670円	114,773円減
③メディアコミュニケーションセミナー(10/15)	104,226円	1,638円増
④番組講習会(11/23)	27,432円	314円減
⑤アナウンス朗読講習会(12/23)	58,132円	15,810円減
番組講習会(3月)への補助	0円	30,000円減
合計	375,500円	159,319円減

(3月番組講習会への補助は他の講習会の支出状況によって検討する)

## 協議 4 NHK 杯県大会要項

(省略 放送専門部のサイトを参照ください <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2014/nken2014.pdf>)

## 協議 5 アナウンス朗読講習会要項

(省略 日時決定後に放送専門部のサイトに掲載します)

## 協議 6 放送講習会要項

(省略 放送専門部のサイトを参照ください <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2014/semi2014-2.pdf>)

## 協議 7 その他

## 連絡 1 平成 27 年度以降の予定

### (1) 平成 27 年度の日程

- ・協議 3(1)の日程原則により、次のとおり会場を仮予約しています。

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中・下旬		理事総会・第1回理事会	盛岡第四高	放送専門部
6	8 9	月 火	第38回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第62回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	29 30	月 火	第15回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	4 5	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	20 23	月 木	第62回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	23	木	Nコン番組制作セミナー	(東京)	全放連・NHK
7	30	木	高文連全国放送専門部理事会	滋賀県栗東市 栗東芸術文化会館さくら	全国高文連
7 8	31 1	金 土	第39回全国高等学校総合文化祭(滋賀大会)放送部門	栗東芸術文化会館さくら	全国高文連
9	上旬		第2回理事会	盛岡第四高	放送専門部
9	20	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(秋田県)	東北高文連
10	中旬?		第38回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	久慈市文化会館?	県高文連 (久慈支部主管)
10	14	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	10 11	火 水	第38回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第33回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	29	日	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	水	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)?	全放連・NHK
2	6 7	土 日	第19回東北高等学校放送コンテスト	秋田県民会館・ジョイナス	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡第四高	放送専門部
3	下旬		番組講習会	(盛岡)	盛岡支部

## (2) 平成 27 年度以降の上位大会

### ア NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

- ・平成 27 年 62 回大会 平成 27 年 7 月 23 日(木) NHK ホール
  - ・平成 28 年 63 回大会 平成 28 年 7 月 28 日(木) NHK ホール
- 平成 32 年 67 回大会については、東京オリンピックとの関係で、関西での開催を準備中。

### イ 全国高等学校総合文化祭

- ・平成 27 年 39 回大会 滋賀県 7 月 31 日(金)-8 月 1 日(土) 栗東芸術文化会館さくら
- ・平成 28 年 40 回大会 広島県 広島国際会議場?
- ・平成 29 年 41 回大会 宮城県 仙台市青年文化センター?
- ・平成 30 年 42 回大会 長野県
- ・平成 31 年 43 回大会 佐賀県?
- ・平成 32 年 44 回大会 高知県?
- ・平成 33 年 45 回大会 和歌山県?
- ・平成 34 年 46 回大会 東京都?
- ・平成 35 年 47 回大会 鹿児島県?

### ウ 東北高等学校放送コンテスト

- ・平成 27 年度 19 回大会 秋田県 2 月 6 日(土)-9 日(日) 秋田県民会館・ジョイナス
- ・平成 28 年度 20 回大会 青森県
- ・平成 29 年度 21 回大会 岩手県
- ・平成 30 年度 22 回大会 宮城県
- ・平成 31 年度 23 回大会 福島県

秋田から時計回りを原則とする。21 年度からの 3 回りめのローテーションでは、23 年度の全国総文祭に備えて 22 年度に福島県を入れ、他をずらした。27 年度からの 4 回りめのローテーションでは、29 年度の全国総文祭に備えて 28 年度に宮城県を入れ、他をずらす可能性もある。

## 連絡 2 放送専門部の連絡方法

### (1) 放送専門部ウェブサイトについて

- ・放送専門部のウェブサイトをご利用ください。 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

### (2) 放送専門部顧問メーリングリストについて

- ・放送専門部顧問のメールアドレスを登録したメーリングリストを設けています。また、連絡は原則としてメーリングリストまたは個別のメールによりますので、一日一度はメールの確認をお願いします。なお、上位大会の手続きは、原則としてすべてメールやウェブです。

### (3) 事務局からの文書発送について

- ・事務局からの文書は、放送専門部のウェブサイトにデータを掲載しダウンロードできるようにします。また、公立高校へは GWW でも送信します。その都度、メーリングリストまたは個別のメールで周知します。

## 連絡 3 その他

### (1) 理事会の旅費の計算について

- ・理事会の旅費は、県高文連旅費規程(平成 26 年 4 月 1 日改定)により、専門部が負担します。
- ・旅費の算出は、各自(各校)でおこなってください。各校の事務室で出張の実態(発着地、通勤経路との関係、私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい、理事会出席の報告時に、交通費(運賃・車賃)・現地経費をお知らせください。
- ・近隣の学校での乗りあわせなど、経費節減へのご協力もよろしくお願いいたします。

### (2) 部員数調査について

- ・事業計画(行事への参加数、補助員依頼等)の基礎資料として、部員数等の調査をおこないます。5 月 13 日(火)までに回答をお願いします。集約結果はメーリングリストと第 2 回理事会で報告します。

### (3) 高文連理事会(4/11 サンセール盛岡)報告

- ・県高文連旅費規程第 4 条(5)を全文削除し平成 26 年 4 月から適用する。削除する条文は次のとおり。あわせて関係の文言を一部変更する(附則の施行日、補足の番号)  
第 4 条(5) 前各号の規定にかかわらず、全規定の鉄道賃金等が 500 円に満たない場合には 500 円を支給する。
- ・県高総文祭総合開会式の会場と担当は、協議 3(2)エ②のとおりです。
- ・県高文連の、被災生徒の高文連会費免除は、平成 25 年度で終了しました。
- ・平成 26 年度の県高文連からの放送専門部への補助金は、88,500 円減額されました。25 年度の 2 万円減、24 年度の 2 万円減に続く措置です。
- ・全国総文祭の生徒旅費補助は、5,500 円×2 泊の見通しです(6 月下旬に決定。昨年度は 7,500 円×2 泊)。
- ・全国総文祭の参加料は 1 エントリーあたり 1,000 円、手続きについては、6 月下旬に参加校に連絡があります。
- ・県高文連会費の値上げについて(4 月 18 日・県高文連第 1 回評議員会で決定)  
平成 27 年度から、全日制生徒及び職員を 200 円値上げして 800 円、定・通・単・支援学校・分校生徒の会費を各学年(3 年生まで)50 円値上げして 300 円とします。値上げ後の専門部補助の金額は 400 万円(平成 25 年度 374 万円、平成 24 年度 410 万円、平成 23 年度 400 万円)の見込みです。

### (4) その他 盛岡支部から

- ・第 2 回絵本 YOMI-1 グランプリ(9 月 21 日・アイーナ)の案内  
<http://ameblo.jp/yomifes2014/>
- ・県高総文祭総合開会式(10 月 10 日・県民会館)への協力要請

# 岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

## 第1章 総則

### 第1条(名称)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部と称し、岩手県高等学校文化連盟に所属する。

### 第2条(事務局)

本専門部は、事務局を専門部長が委嘱する学校に置く。

### 第3条(構成)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟加盟校の放送・視聴覚等の部・委員会等(以下「放送部等」という)により構成する。

- 2 本専門部に岩手県高等学校文化連盟が定める10支部(盛岡, 花巻, 北上, 奥州, 一関, 気仙, 釜石, 宮古, 久慈, 二戸)を置く。

## 第2章 目的及び事業

### 第4条(目的)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟の掲げる目的に即して、放送部等の相互理解と、校内放送活動の育成、振興、ならびに健全な発展に寄与することを目的とする。

### 第5条(事業)

本専門部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- (1) 大会, 講習会, 研修会の開催に関すること。(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会, 岩手県高等学校放送新人大会等)
- (2) 放送部等の情報交換および連絡に関すること。
- (3) 校内放送活動の研究に関すること。
- (4) 関係機関との情報交換および交流に関すること。
- (5) その他目的達成に必要な事業

## 第3章 役員

### 第6条(役員)

本専門部に次の役員を置く。

- (1) 専門部長 1名
- (2) 副専門部長 若干名
- (3) 専門部代表理事(事務局長) 1名

- (4) 専門部理事 若干名

- (5) 支部理事 各支部1名(10名)

- (6) 監事 2名

### 第7条(事務局)

本専門部事務局に次の事務局員を置く。

- (1) 事務局長(専門部代表理事) 1名
- (2) 庶務担当 若干名
- (3) 会計担当 若干名

### 第8条(職務)

役員職務は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、本専門部を代表し、会務を統轄する。
- (2) 副専門部長は、専門部長を補佐し、専門部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 専門部代表理事は、理事会を統括し、事務局長として会務を処理する。
- (4) 専門部理事は、理事会を組織し、会務を処理する。
- (5) 監事は、業務の監督及び会計の監査を行う。
- (6) 事務局員は、本専門部の事務を処理する。

### 第9条(選出)

役員選出は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、岩手県高等学校長協会の推薦により、理事総会で承認する。
- (2) 副専門部長は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (3) 専門部代表理事(事務局長), 専門部理事, 監事は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (4) 支部理事は、専門部理事より各支部で選出し、理事総会で承認する。
- (5) 事務局員は、専門部長が委嘱する。

- 2 役員重任は妨げない。

### 第10条(任期)

役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役員に欠員が生じたときは補充することができる。

## 第4章 会議

### 第11条(会議)

本専門部の会議は次のとおりとする。

- (1) 理事総会 本専門部役員全員で構成する。理事総

会は本専門部の最高決議機関であり、毎年1回専門部長が招集する。

- (2) 理事会 専門部長、副専門部長、専門部代表理事(事務局長)、専門部理事で構成する。必要に応じて専門部長が招集する。
- (3) 事業実行委員会 主催事業毎、ならびに上位大会を主管する毎に組織する。必要に応じて専門部長が招集する。

#### 第12条(会議に付議すべき事項)

- (1) 理事総会
  - ① 事業報告および決算
  - ② 事業計画および予算
  - ③ 役員を選出
  - ④ 規約の改定
  - ⑤ その他特に必要な事項
- (2) 理事会
  - ① 理事総会から委嘱された事項
  - ② 細則の改定
  - ③ 加盟団体から提案された事項
  - ④ その他必要な事項

#### 第13条(議決)

会議は構成校の3分の2以上の出席で成立するものとし、委任状はこれを認める。

- 2 議決は出席者の過半数の賛否により決定する。ただし1校1票とする。

### 第5章 会計

#### 第14条(会計)

本連盟の経費は、登録料・参加料・補助金(岩手県高等学校文化連盟等)・寄付金及びその他の収入をもって、これにあてる。

#### 第15条(会計年度)

本専門部の会計年度は当年4月1日から翌年の3月31日までとする。

#### 第16条(会計経理)

本専門部の会計は、別に定める会計事務に関する細則による。

#### 附則

- 1 この規約は、理事総会の議決によらなければ変更することができない。
- 2 この規約の実行に必要な細則は、理事会の議決をへて別に定める。
- 3 この規約は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この規約は、平成15年4月から施行する。
- 5 この規約は、平成18年4月から施行する。
- 6 この規約は、平成20年4月から施行する。
- 7 この規約は、平成21年4月から施行する。

## 役員選出に関する細則

### 第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第6条および第9条による役員選出について定めるものである。

### 第2条(役員選出の原案)

役員を選出については、別表1により原案を作成する。事務局については第3条で定める。

### 第3条(事務局の輪番)

事務局は、2年交代の輪番制とする。

- 2 輪番制の対象校は盛岡支部内の専門部理事担当校とする。
- 3 輪番制の詳細については、別表2による。

### 附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 別表1および別表2は、事務局が交代する直前の理事会で改定することを原則とする。
- 3 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この細則は、平成16年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成17年4月から施行する。
- 6 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 7 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 8 この細則は、平成24年4月から施行する。

### 別表1 役員案作成に関する事項

専門部長 岩手県高等学校長協会の推薦による。

副専門部長 事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。ただし専門部長が事務局校校長である場合は次期事務局校校長のみとする。

専門部代表理事(事務局長) 事務局校の専門部理事とする。

専門部理事 大会(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。

監事 前事務局校と次期事務局校とする。

備考 専門部長について2014(平成26)年4月の岩手県高等学校長協会の推薦は、岩手県立福岡工業高等学校長。

### 別表2 事務局の輪番に関する事項

- 1 盛岡白百合学園 1996～1997年度
- 2 盛岡第二 (インターハイ式典)
- 3 盛岡第三 1998～1999年度
- 4 盛岡南 2000～2001年度
- 5 不来方 2002～2003年度
- 6 盛岡工業 2004～2005年度
- 7 盛岡商業 2006～2007年度
- 8 盛岡第一 2008～2009年度
- 9 盛岡市立 2010～2011年度
- 10 盛岡北 2012～2013年度
- 11 盛岡第四 2014～2015年度
- 12 岩手 2016～2017年度

(12番の次は1番に戻る)

備考①輪番制は1996(平成8)年度から実施している。

②輪番については、記載順を原則とする。

## 会計事務に関する細則

### 第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第14条による会計事務の執行について定めるものである。

### 第2条(会計事務)

会計事務は、専門部長の指導のもと、事務局長が担当する。

- 2 予算書は、事務局長が作成し、理事総会の議を経なければならない。
- 3 収納した現金は、確実な金融機関に預金し、事務局長が保管する。
- 4 事務局長は、予算書および関係書類を照合し、その内容金額を適正時期に支出する。受領した領収証は厳重に保管し、速やかに記帳処理を行う。
- 5 決算書は、会計年度終了後速やかに作成し、監査後、理事総会の承認を得なければならない。

### 第3条(登録料)

登録料は、主催大会の参加校1校あたり、年額10,000円とする。納期は理事会で定める。

### 第4条(参加料)

本専門部の主催する事業の参加料、ならびに納期は、理事会で定める。

### 第5条(旅費)

旅費は、岩手県高等学校文化連盟旅費規程による。

### 第6条(事業費)

本専門部が主催する事業については、放送専門部一般会計から相当額の事業費を支出し、その都度予算書を作成し、理事会の議を経て執行する。予算書は、事務局長が作成する。

- 2 事業終了後は、速やかに決算書を作成し、監査後、理事会の承認を得なければならない。

### 附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 3 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 4 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成25年4月から施行する。

## 岩手県高等学校文化連盟旅費規程 (参考資料)

### 第1条(趣旨)

この規定は岩手県高等学校文化連盟会計規定第2条により、旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

### 第2条(旅費の支給)

岩手県高等学校文化連盟加盟校の職員(以下、「加盟校職員」という。)が岩手県高等学校文化連盟(以下、「県高文連」という。)の主催する事業を遂行するために旅行する場合には、当該加盟校職員に対し、旅費を支給する。

2 前項の規定に関わらず、加盟校職員が県高文連の主催する大会(以下、「主催大会」という。)等に、参加生徒を引率する業務を兼ねて従事する場合には、旅費を支給しない。

3 加盟校職員以外の者が、県高文連の依頼に応じ、県高文連の主催する事業の遂行を補助するために旅行した場合には、その者に対し旅費を支給する。

### 第3条(旅費の種類)

旅費の種類は、交通費、現地経費、宿泊料とする。

### 第4条(交通費)

交通費は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃とし、旅行の経路に応じて、次の各号に定めるところにより実費相当額を支給する。

- (1) 鉄道賃は、加盟校職員が所属する学校(以下、「加盟校」という。)の最寄り駅から用務地の最寄り駅までの運賃実費を支給する。
- (2) 船賃は、水路旅行について、路程に応じ船賃実費を支給する。
- (3) 航空賃は、航空旅行について、路程に応じ支給するものとし、その額は現に支払った額とする。
- (4) 加盟校又は用務地から最寄り駅までの陸路距離が相当程度と認められる場合に限り、陸路旅行について、路程に応じ車賃を支給することができる。その額は岩手県職員の例による。

### 第5条(現地経費)

現地経費は、旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給するものとし、その額は次のとおりとする。

- (1) 旅行の用務地が県内である場合には、1,500円を支給する。
- (2) 旅行の用務地が県外である場合には、2,200円を支給する。(甲地方のみ2,900円)

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する額に調整する。

- (1) 行程40キロメートル未満の旅行(※1)であって、用務地が県内のものについては、支給しない。
- (2) 用務が主催大会であって、昼食が支給される場合は、前項の各号に規定する額の2分の1に相当する額。
- (3) 公用車等(※2)のみを利用して旅行する場合は、前項の各号の規定する額の2分の1に相当する額。

### 第6条(宿泊料)

宿泊料は、旅行中の夜数に応じ1夜当たりの定額により支給するものとし、その額は9,800円とする。(甲地方のみ10,900円)

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する宿泊料を支給する。

- (1) 旅行者が自己所有の空き家、配偶者宅等に宿泊する場合には、宿泊料は支給しない。
- (2) 主催大会に関する業務に従事する場合等で、大会主催者等により宿泊料が定められている場合には、当該実費額を支給する。

3 主催大会等に関する業務に従事する場合で、県高文連会長が必要と認めた者に対しては、宿泊料を支給することができる。

### 第7条(準用)

この規定に定める事項以外については、岩手県職員の例による。

### 附則

- 1 この規定は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規定は、平成18年4月21日から施行する。
- 3 この規定は、平成26年4月1日から施行する。

### (補足)

※1 1日の行程(日帰りの場合は往復分)のキロ数

※2 「公用車等」は、私用車の公務上使用承認を受けた場合を含む

## 岩手県高等学校文化連盟表彰規程 (参考資料)

### 第1条(趣旨)

本県高等学校の芸術・文化の活動の振興と水準の向上を図るため、芸術・文化活動における優れた業績と本連盟の発展に尽くした生徒(部を含む)、教職員及び他団体(個人)を表彰する。

### 第2条(推薦の方法)

推薦にあたっては、別紙様式による推薦書に記入し、所定の期日までに提出する。

#### 1 生徒について

- (1) 当該学校長が在学生徒及び前年度卒業生より選定して、会長あて推薦する。
- (2) 専門部長は、当該専門部より選定して会長あて推薦する。

2 教職員については、支部長、専門部長が選定して会長あて推薦する。

3 団体については、支部長、専門部長等が選定して会長あて推薦する。

### 第3条(推薦の条件)

#### 1 生徒について

- (1) 在学中、学業・性行ともに優れ、健全かつ優れた活動実績を有するもの。
- (2) 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとに表彰する特別賞を受賞したもの。
- (3) 全国高等学校総合文化祭、その他の全国規模の大会及びコンクールにおいて優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
- (4) 推薦対象の期間は、前年度9月1日より翌年の8月31日までの一年間を原則とする。

#### 2 教職員について

多年にわたり芸術・文化の指導に尽くし、本県高等学校文化連盟の振興に寄与した功績が特に顕著であった教職員であること。

- (1) 次に該当する役員が退任する際に表彰する。  
ア 県高等学校文化連盟会長

(2) 次に該当する教職員については、退職の際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟副会長、専門部長を経験したもの。

イ 県高等学校文化連盟理事長、事務局長を経験したもの。

ウ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに優良賞(3位)以内に入賞したものを対象とする。

エ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに10回以上出品・出演させたものを対象とする。

#### 3 団体について

本県高等学校文化連盟の振興に尽力した団体。

### 第4条(表彰審議委員会)

審議を公平に行うため、表彰審議委員会を設置する。

- 1 高文連会長は表彰審議委員会を設置する。
- 2 表彰審議委員は、高文連会長が委嘱する。
- 3 表彰審議委員会は、必要に応じて会長が招集し、被表彰者を審議選考して、会長に具申する。

### 第5条(表彰)

- 1 県高等学校総合文化祭総合開会式の際表彰する。
- 2 表彰状及び記念品を贈る。

### 第6条(専門部の表彰)

- 1 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとの表彰については、高等学校文化連盟会長名で表彰するものとする。
- 2 表彰の名称等は次の型とする。
  - (1) 特別賞 最優秀賞 優秀賞 優良賞 入選
  - (2) 特別賞 金賞 銀賞 銅賞 入選
  - (3) 1位 2位 3位

### 付則

- 1 この規程は、昭和62年9月9日から施行する。
- 2 この規程は、平成12年4月18日から施行する。
- 3 この規程は、平成24年4月13日から施行する。

## 資料 平成25年度大会結果

(省略 放送専門部のサイトを参照ください <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2013/>)

## 資料 平成25年度高文連紀要

(省略 各校配布済み)